

1989年8月9日 第71回大会1回戦

倉敷商 001 000 001 | 2  
東邦 000 100 000 | 1

▽二塁打 柴田2、河原、原浩、山田、山中



優勝候補の東邦に競り勝ち、笑顔で引き揚げる倉敷商ナイン。中央は長谷川監督

聖地のアルバム

岡山勢 名勝負

①

倉敷商 大本命打ち砕く

相手はセンバツ王者の東邦(愛知)だった。平成初となる夏の甲子園の開幕日。倉敷商は投手を

砕いた。

中心に守り勝つ「長谷川野球」の真価を發揮し、春夏連覇を狙った優勝候補の大本命の野望を打ち

勢いに乗り、初の8強に進出した。「令和」を迎えた今も堅守はチームの代名詞となっている。

(岡崎創史)

敵しい指導で知られた長谷川監督が試合後「攻守とも百点の出来」と手放しでたたえた。毎三振ゼロも丁寧で打たせて取る右投手の主戦竹本をバックが堅守で支え、圧倒的不利との下馬評を見事に覆した。

第102回全国高校野球選手権は新型コロナウイルスの影響で戦後初の中止となった。1世紀に及ぶ歴史を持つ夏の甲子園大会で激闘を繰り広げてきた岡山勢。球児の夢舞台が消えた今年、本社がセレクトした名勝負5試合を1回戦から順にブレイバックする。

同点とされた直後の四回無死二塁、バント空振り飛び出した走者を捕手の野間が刺し、一、七回は無死一塁からのバントでいずれも二塁封殺。遊撃田頭の実技などで東

邦の強攻策を封じたのは八回無死二塁のピンチだ。「確実に送りたかったが、相手の内野守備が完璧でバントのサインが出せなかった」と敵将の阪口監督に言わしめた。

1失点で完投 竹本賢一さん(49) = 倉敷市田ノ上



大声援を力に

前年夏の甲子園を経験していたので、緊張はなく、大声援を自分の力に変えられた。東邦は守りのチームという印象で、調子さえ良ければ試合をつくれるイメージはあった。変化球に自信があり、配球は中学時代からバツ

テリーを組む野間に任せられていた。入学時、同学年に4人いた投手で自分は4番手。電車通学の3人が帰ってからの勝負の時間が短かいため、走り込みなど1日2時間多く練習した。地道に努力を重ねれば、花が咲く時期が必ず来ると身をもって学んだ。

昭和天皇が逝去し、元号が「平成」に変わった。消費税が5%でスタートし、リクルート事件により竹下登内閣が総辞職に追い込まれた。毎外

世相

では、中国で民主化を求めた学生らと軍が衝突する天安門事件が発生。ドイツでは東西冷戦の象徴だった「ベルリンの壁」が崩壊した。